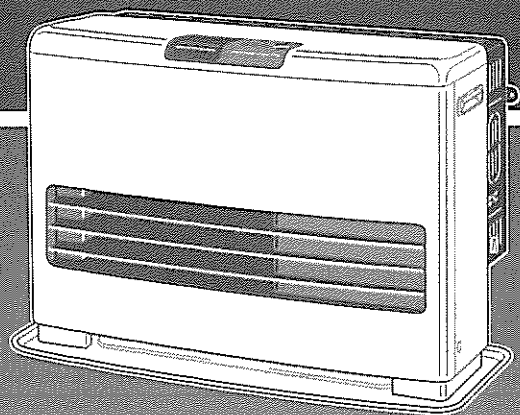
CORONA

コロナ密閉式石油ストーブ

取扱説明書

正しく使って上手に節約

FF-G330S
FF-G430S

このたびは、コロナ石油ストーブをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」と共に大切に保管してください。

もくじ

1.特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。　その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合はガソリン禁止)が描かれています。

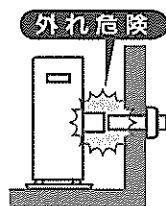
❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

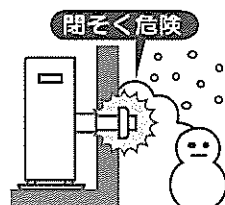
⚠警告

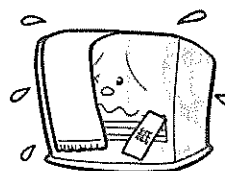
●ガソリン厳禁

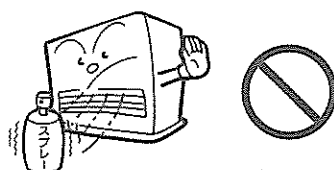
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

●外れ危険

給排気筒（管、ホース）が正しく接続されているか点検してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

●給排気筒トップ閉そく危険

積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。
運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

●温風吹出口をふさがないで

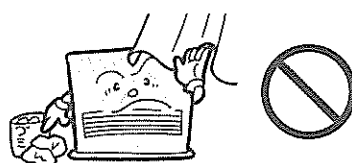
衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさいだり、異物を入れないでください。
衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

●スプレー缶厳禁

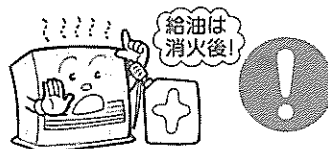
スプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

●可燃性ガス使用厳禁

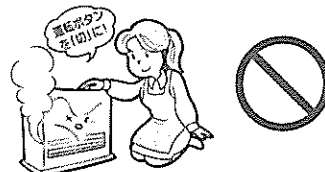
ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー、ガソリン）、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

⚠注意

●カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそば、ほこりの多い場所などでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

●給油時消火

給油は、必ず消火してから行い、こぼれた灯油はよくふきとってください。火災のおそれがあります。

●異常時使用禁止

万一異常を感じたときは、使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。
すみやかに運転ボタンを「切」にしてください。

●温風に注意

温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

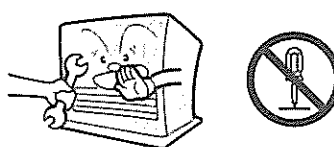
- 特にお子様やお年寄り、体の不自由な方が使われるときは、周囲の人が十分注意してください。
- 衣類などを乾燥した場合、素材によって色あせすることがあります。

●高温部に注意

燃焼中や消火直後は、温風吹出口付近や給排気筒が高温になっていますので、手などふれないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

- 小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

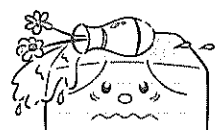
●分解修理の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は、危険です。
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⚠ 注意

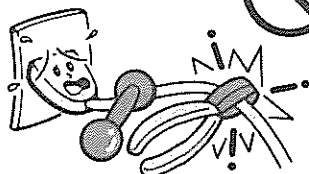
●指や棒を入れないで

給排気筒トップに指や棒などを入れないでください。
けがや火災の原因になります。

●腰をかけたり、物をのせないで

腰をかけたり、やかんや花びんなどの物をのせないでください。やけどしたり、ストーブが変形することがあります。また、水が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。

●電源プラグ、コード

- 電源プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
  コードを引っぱって抜くと、芯線の断線により、感電やショートによる発熱・発火の原因になります。

- 電源プラグやコードを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っぱったりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

- ご使用にならないときやシーズンオフ時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ほこりなどの付着による絶縁劣化により、漏電や発熱・発火の原因になります。ときどき電源プラグの点検・清掃をしてください。

●電源の接続

- 電源は適正配線された単相100Vのコンセント以外は使用しないでください。発熱・発火の原因になります。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。発熱・発火の原因になります。

●変質灯油に注意

変質灯油、汚れた油、水の混じっている灯油などを使用しないでください。
異常燃焼や故障のおそれがあります。

●灯油の保管

灯油は、火気、雨水、ごみ、高温および直射日光を避けた場所に保管してください。ガソリンなどと一緒に保管しないでください。
誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。

●据付け上の注意

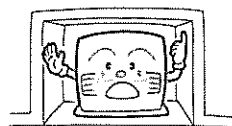
- お客様ご自身による工事は危険です。据付け工事や移設工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
- ストーブおよび給排気筒の据付けについては火災予防条例、石油燃焼機器の設置基準による規制がありますので、これに従って据付けてください。
- ストーブの固定は、本体固定金具などで、確実に固定してください。

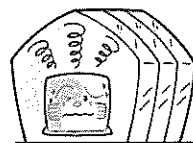
●ほこりの除去

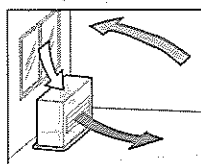
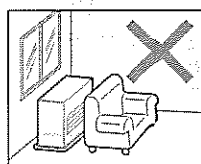
ファンフィルターは、1週間に1回以上掃除してください。
ファンフィルターにほこりがたまると、温風量が少なくなり、ストーブ内の温度が異常に高くなって過熱防止装置が作動する場合があります。

2.使用する場所

安全に使用するために

●マントルピースなどに据付ける場合は、標準据付け例に従ってください。（33ページ参照）

●標高が1500ｍ以上の場所では使用しないでください。（空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。）
高地で使用される場合は調整が必要です。（詳しくは、型紙裏面の工事説明書（高地または延長配管で使用の場合）をご覧ください。）

●温室、飼育室、乾燥室などでは絶対に使用しないでください。

効果的に使用するために

窓の下や壁面に設置

●外気に接する窓の下や壁面に置くと、冷気がストーブで暖められ、温風として対流しますので効果的です。

温風の循環を妨げないで

●温風吹出口の前面に障害物を置かないでください。

- 障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、本体の温度が上昇して危険です。

●温風吹出口側の空間を広くとれる場所を選んでください。
●出入口など人の通るところは、ぶつかると危険ですので避けてください。

3.各部の名称

外観図

正　面

背　面

排気管抜け検知用リード線

ファンフィルターとって

排気管取付口

背面カバー

本体固定金具

給排気筒

対流用送風機

給排気筒トップ

給気管取付口

ファンフィルター

給気ホース

燃焼用送風機

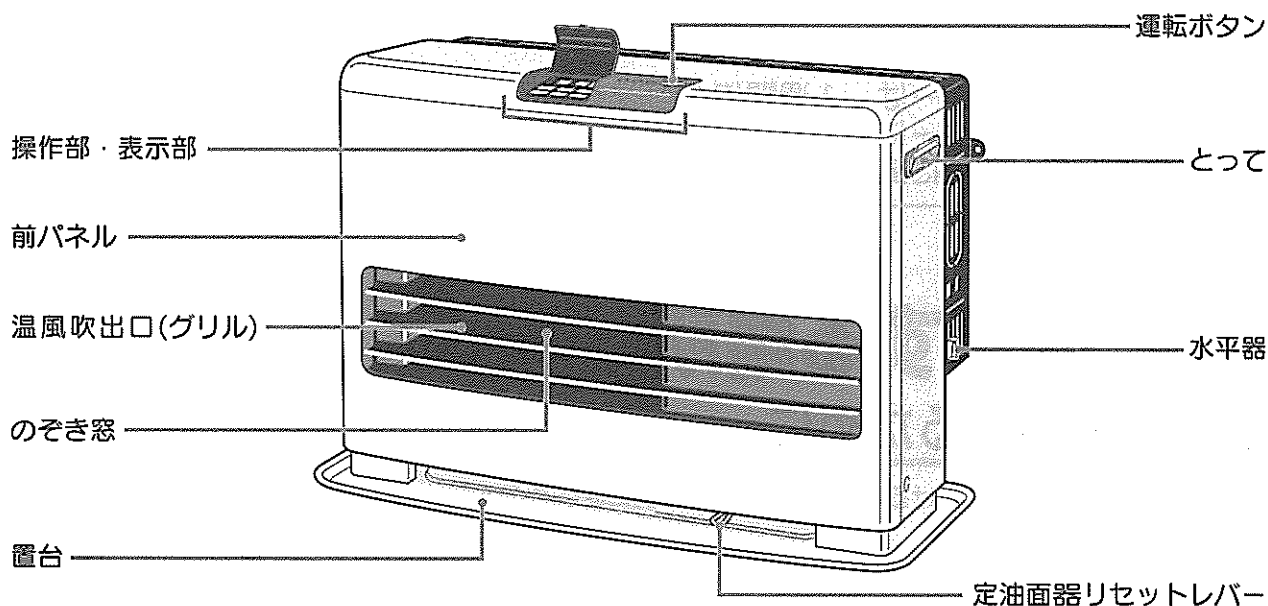
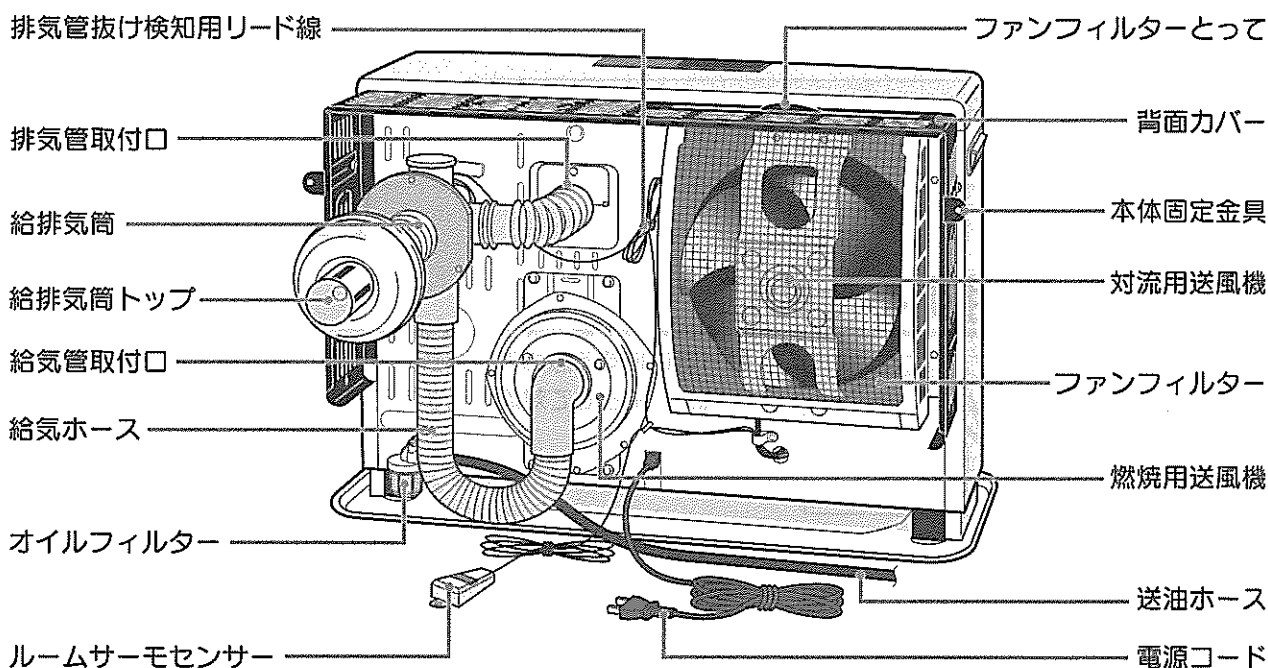
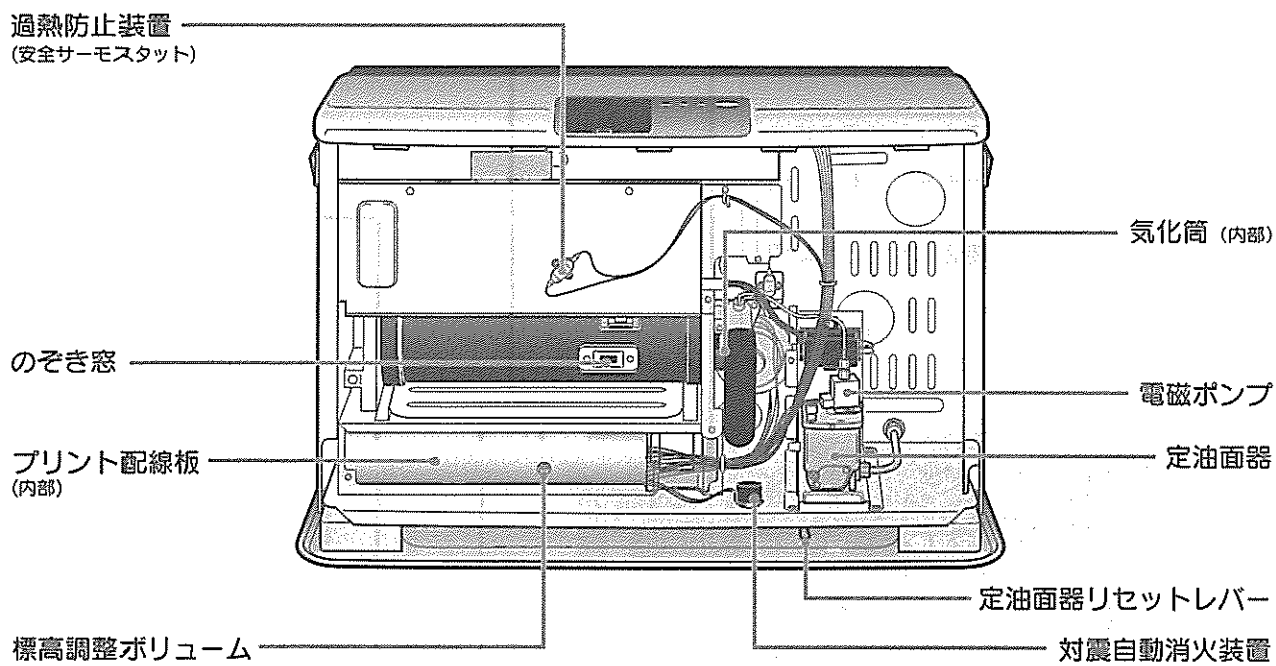
オイルフィルター

送油ホース

ルームサーモセンサー

電源コード

構造図

過熱防止装置
(安全サーモスタット)
のぞき窓
プリント配線板
(内部)
標高調整ボリューム
気化筒 (内部)
電磁ポンプ
定油面器
定油面器リセットレバー
対震自動消火装置

操作部・表示部

注）イラストはFF-G430Sで説明しています。

切換スイッチ

時計合せ	時計を合わせるときに切換えます。
時　　計	時刻、タイマー時刻を合わせた後に切換えます。
タイマー合せ	タイマー時刻を合わせるときに切換えます。

（17ページ）

おやすみ▶おはようキー

- おやすみ▶おはようタイマー運転をセットするときに押します。
  おやすみ▶おはようタイマー運転をセットすると、おやすみランプとおはようランプが同時に点灯します。 （19ページ）

秒速点火キー（秒速点火ランプ兼用）

- 秒速点火のセット・解除をするときに押します。

点　　灯	秒速点火ができます。

（14ページ）

表示切換キー

温度表示・時計表示を切換えるときに押します。

時計/タイマー合せボタン

- 現在時刻とタイマー時刻を合わせるときに押します。
  （時）………時合せ
  （分）………分合せ　　（17ページ）

温度調節ボタン

- 設定温度を変えるときに押します。
  V………温度を下げる
  Λ………温度を上げる　　（15ページ）

おはようボタン（おはようランプ兼用）

- おはようタイマー運転のセットをするときに押します。

点　灯	おはようタイマー運転ができます。

（18ページ）

ゆらぎ省エネボタン（ゆらぎ省エネランプ兼用）

- ゆらぎ省エネ運転のセット・解除をするときに押します。

点　灯	ゆらぎ省エネ運転中（セーブ消火中も点灯）

（15ページ）

ロックボタン

- チャイルドロックのセット・解除をするときに押します。

（19ページ）

運転ボタン（運転ランプ兼用）

- 点火・消火するときに押します。

点　滅	予熱中（予熱完了後自動点火）
点　灯	燃焼中
早い点滅	何かの原因で自動消火

（14・16・20ページ）

おやすみキー（おやすみランプ兼用）

- おやすみタイマー運転のセット・解除をするときに押します。

点　灯	1時間運転後自動消火

（18ページ）

弱運転キー（弱運転ランプ兼用）

- 弱運転のセット・解除をするときに押します。

点　灯	弱運転ができます。

（16ページ）

操作部・表示部

注）イラストは説明のため全部点灯・表示した状態です。

デジタル表示部

表示	説明
●温度 ○午前 ○午後 設定温度 22 : 室内温度 12	●温度点灯（温度表示） 左側：設定温度表示(12℃～30℃) （未セットの場合、自動的に22℃にセットされています。） 右側：室内温度表示
○温度 ●午前 ○午後 設定温度 8 : 室内温度 30	●午前または、午後点灯（時刻表示）　●時計動作コロン点滅 左側：時　　右側：分　（例）午前８時30分 ●切換スイッチを「タイマー合せ」にすると、タイマーセット時刻を表示します。（未セットの場合、タイマー時刻は自動的に午前６：００にセットされています。時計動作コロンは消灯）
○温度 ○午前 ○午後 設定温度 : 室内温度 EE	●EE 点灯 停電後再通電（ストーブ運転中または、ポット昇温時）
○温度 ○午前 ○午後 設定温度 -- : 室内温度 --	●－－　－－ 点灯 電源プラグをコンセントに差し込んだとき（時刻の未セット） 停電後再通電（ストーブ停止中または、ポット冷却時）
○温度 ○午前 ○午後 設定温度 : 室内温度 CL	●CL 表示点灯：チャイルドロックのセット表示 CL 表示点滅：チャイルドロックがセットされた後、表示切換キーとゆらぎ省エネボタン以外のボタンを押したとき
○温度 ○午前 ○午後 設定温度 : 室内温度 E9	●（例）E9 表示：対震自動消火装置の作動 再度、点火操作をしてください。 ●その他の E 表示は28ページを参照してください。
○温度 ○午前 ○午後 設定温度 0 : 室内温度 FF	●OFF 表示 おやすみタイマー終了後の停止表示
○温度 ○午前 ○午後 設定温度 Lo : 室内温度 12	●Lo 表示点滅：弱運転中に温度調節ボタンを押したとき

4.使用前の準備

燃　料

燃料は必ず灯油（JIS1号灯油）を使用してください。

● ⚠警告 ガソリンなど揮発性の高い油は、火災の原因になりますので絶対に使用しないでください。

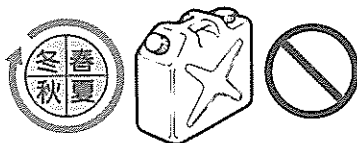
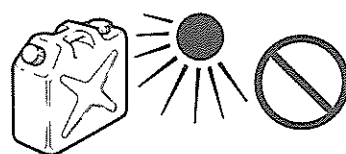
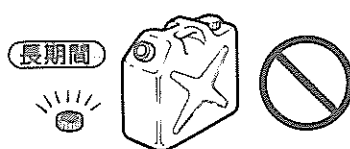
● ⚠注意 変質灯油、汚れた油、水の混じっている灯油などは、絶対に使用しないでください。

● ⚠注意 灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光を避けた場所に保管してください。
ガソリンなどと一緒に保管しないでください。
誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ、息をふきかけます。
（火の気のない所で行ってください。）

変質灯油・不純灯油とは………

昨シーズンより持ち越しの灯油

長期間日光にあたる所や温度の高い所に保管した灯油

容器のふたが開けてあったり、白いポリ容器で保管した灯油

水・ごみや灯油以外の油がほんのわずかでも混入した灯油

●極度に変質したものは、黄色味がかったり、すっぱいにおいがします。
●灯油はシーズン中に使いきりましょう。

■変質灯油や不純灯油を使用すると…
- 油の程度にもよりますが、燃焼不良をおこしたり、ストーブの損傷を早め、故障の原因になります。
- 水やごみが送油経路に流れ込み、燃焼不良や着火不良の原因になります。

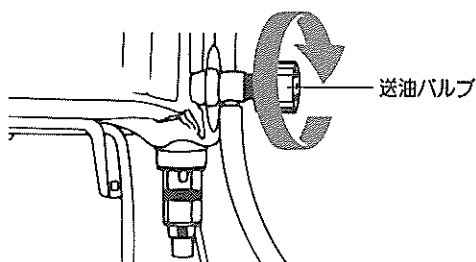
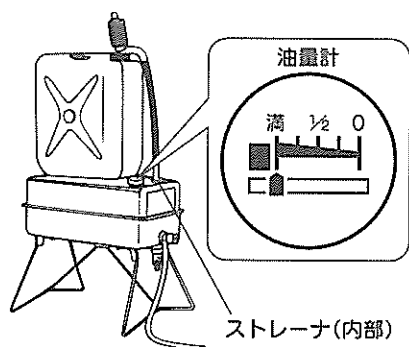
■万一変質灯油や不純灯油を使用したときは、
- お買い求めの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。

- 変質灯油・不純灯油が原因でサービスを依頼されたときは、保証期間中でも有料となります。

給　油

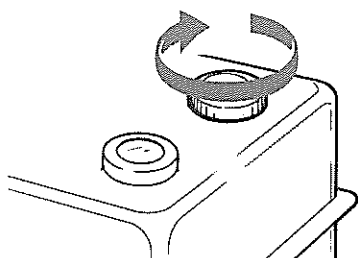
⚠注意 給油は必ず消火してから行い、こぼれた灯油はよくふきとってください。火災のおそれがあります。

給油の手順と注意

1 油タンクの送油バルブを閉じる

2 給油口ふたをはずし給油する

●市販の給油ポンプなどを使用して、油量計を見ながら給油してください。

●油量計の針が「満」をさしたら給油をやめてください。

・給油後は給油口にあるストレーナを取り出して、水やごみがたまっていたら掃除をしてください。

3 給油口ふたを締める

●給油口ふたは、確実に締めてください。

・⚠注意 こぼれた灯油はよくふき取ってください。

・給油の際に、水・ごみなどを入れないように特に注意してください。
・水・ごみなどは燃焼不良やストーブの寿命低下などの原因になります。

■灯油がなくなると

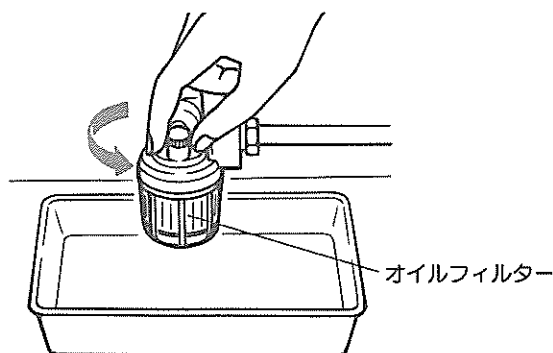
●ご使用中、油タンク内の灯油がなくなると、デジタル表示部に E2 または、E4 が表示され消火します。

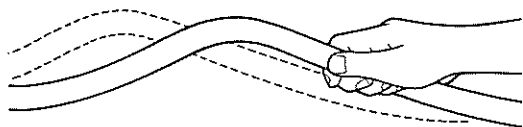
・油タンクは、空にしないように、早めに給油してください。
・灯油がなくなり、デジタル表示部に E 表示が出た場合は、給油後、送油経路の空気抜きが必要となります。

■送油経路の空気抜き

●初めて使用するときや油切れでデジタル表示部に E 表示がでた場合は、油タンクに給油した後に、空気抜きを行ってください。

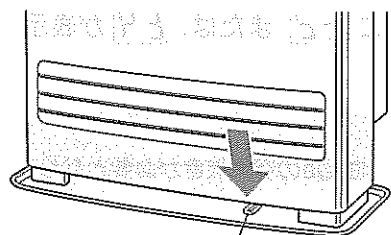
1 空気抜き用ねじをゆるめる

●灯油が床にこぼれないようオイルフィルターの下に布や、容器などを用意してください。

2 送油ホースをよく振り空気抜きをする

●送油ホースをよく振り、送油経路内の空気抜きを十分に行ってください。

3 空気抜き用ねじを締める

●空気が抜けオイルフィルターの中に灯油が満たされたら空気抜き用ねじを締めてください。

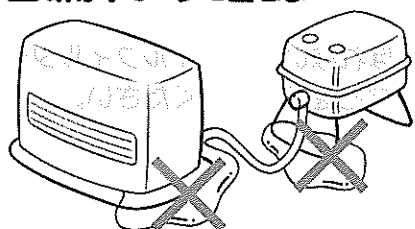
点火前の準備と確認

■定油面器のセット

定油面器リセットレバー

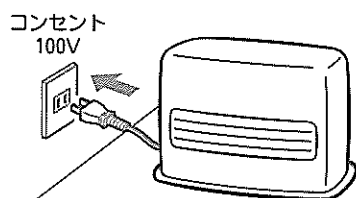
●定油面器リセットレバーを１回押し下げます。
操作した後は、リセットレバーが元の位置にもどっているか確認してください。

●点火するたびにセットする必要はありませんが、据付け時や、シーズン初め、ストーブ設置場所の変更、または対震自動消火装置が作動した後で再運転するときは、リセットレバーを押し下げてください。

- レバーの間に、ものをはさんだり、押し下げたままの状態には絶対にしないでください。

■油漏れの確認

●油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないかどうか確認してください。

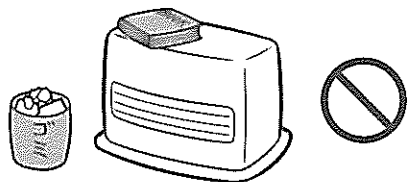
- 油漏れのときは、使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じてからお買い求めの販売店にご相談ください。

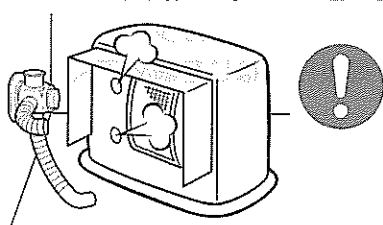
■電源の接続

●電源プラグをコンセントに刃の根元まで確実に差し込んでください。

⚠注意

電源プラグ・コードの発熱・発火を防ぐために…

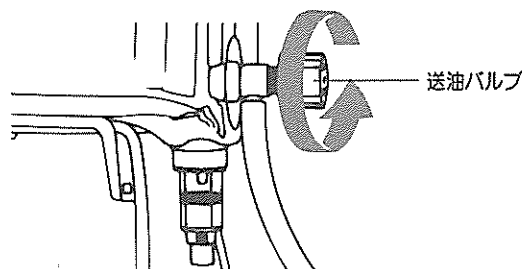
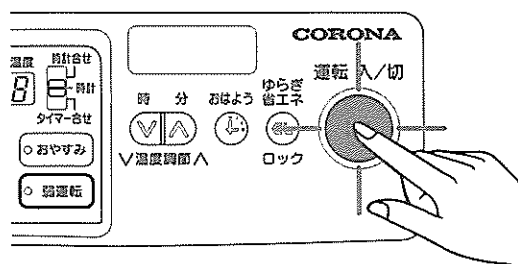
- 電源は、必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。

■ストーブ周囲の確認

●ストーブの上や周囲に燃えやすいものを置いていないか確認してください。

■給排気筒接続部の確認

● **⚠警告** 給排気筒が正しく接続されているか確認してください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れ危険です。

5.使用方法

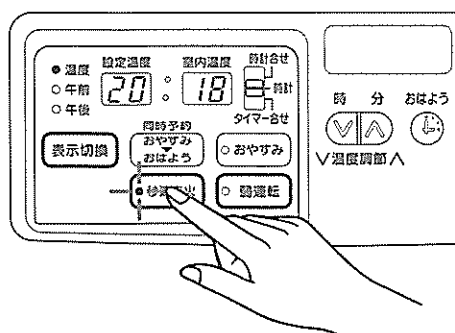
点　火

1 油タンクの送油バルブを開く

2 運転ボタンを押す

●運転ランプが点滅します。
●予熱が完了すると自動点火し、運転ランプは点灯に変わります。

- 着火時、放電音と同時に着火音を発しますが、異常ではありません。
- 点火操作から放電(着火)まで室温により多少変化しますが、約３分の予熱時間がかかります。
- 着火後、約１分で温風が出始めます。

■秒速点火

運転停止中に予熱しておくことにより、点火時間を短縮させる機能です。

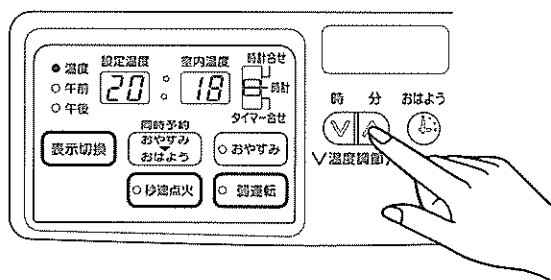
秒速点火キーを押す

●秒速点火ランプが点滅します。
秒速点火ランプが点滅から点灯に変わる（約３分後）と、秒速点火することができます。
●点火操作後、約15秒で点火します。
●秒速点火を解除するときは、もう一度秒速点火キーを押して、秒速点火ランプを消灯させてください。

- 秒速点火は、12時間たつと自動的に解除されます。
- 秒速点火ランプが点灯しているときは、運転停止中のみ約100Wの消費電力がかかります。
- 運転停止中に秒速点火ランプが点灯しているときは、ストーブ上面が少し暖かくなります。
- タイマー運転にすると秒速点火は自動的に解除され、秒速点火キーを押しても秒速点火ランプは点滅しません。

■初めてのご使用・シーズン初めの初使用時には……

●防錆油や塗料などが焼けるため、煙やにおいがでます。しばらくの間、換気をしながらご使用ください。
●送油経路内の空気たまりなどにより、１回で着火しないことがあります。このストーブは、ミス着火時に再度自動的に点火を行いますが、それでも着火しない場合は、点火操作を２～３回くりかえしてください。
●外気温が低くなると、給排気筒の先端から連続的に白煙が出ることがありますが、異常ではありません。
これは排ガス中に含まれている水分が凝結して水蒸気になるためで、異常燃焼による白煙ではありません。

室温の調節

温度調節ボタンを押す

●温度調節ボタンを押して希望の温度に合わせてください。

●ボタンを押しつづけると、表示は連続して変わります。

- ルームサーモセンサーにより、設定温度に応じて自動的に火力が切り変わります。
- 未セットの場合、設定温度は自動的に22℃にセットされています。
- 設定温度は、12℃から30℃までの範囲でセットできます。

- 室内温度表示は、ルームサーモセンサー周辺の温度を感知して表示するので、お部屋の温度計とは数値が一致しないことがあります。
- ルームサーモセンサーは、ストーブの上部や熱の受けやすい場所、直射日光や冷気のあたる場所を避け、適切な位置に取り付けてください。

■ゆらぎ省エネ運転

初めて使用されるときには、ゆらぎ省エネ運転モードに設定されています。（ゆらぎ省エネボタン点灯）

通常運転にもどす場合は、ゆらぎ省エネボタン（ロックボタン兼用）を押して、ゆらぎ省エネランプを消灯させてください。

●ゆらぎ省エネ運転とは…

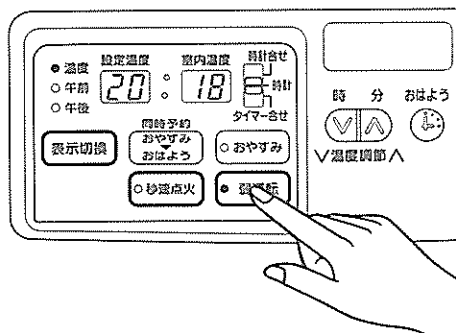
室温が設定温度まで上昇し、一定温度を保って暖房すると暖かさを感じにくくなります。
そこで火力（燃焼量）を周期的にコントロールし、室温を微妙に変化（ゆらぎ）させることにより、暖かさを保ちながら火力を抑えて効果的に暖房します。さらに室温が設定温度より２℃上昇すると、自動的に消火（セーブ消火）し、設定温度まで下がると自動的に再点火し、室温を調節します。
最小火力でも室温が上昇する場合（気温の高いとき、日あたりのよい部屋）などは、ゆらぎ省エネ運転をお選びください。

- セーブ消火中は、ゆらぎ省エネランプのみ点灯しています。
- ゆらぎ省エネ運転を解除すると、部屋の温度が上昇しても、最小火力で運転しますので室温が少し高めになることがあります。
- ゆらぎ省エネ運転にセットすると、電源プラグを抜いたり、停電などがないかぎり、運転ボタンを押すと自動的にゆらぎ省エネ運転となります。

室温の調節

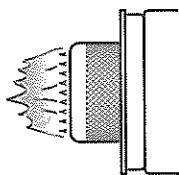
弱運転

室温が５℃以上の場合、設定温度に関係なく最小火力で燃焼を継続します。

弱運転キーを押す

●弱運転ランプが点灯し、弱運転を開始します。

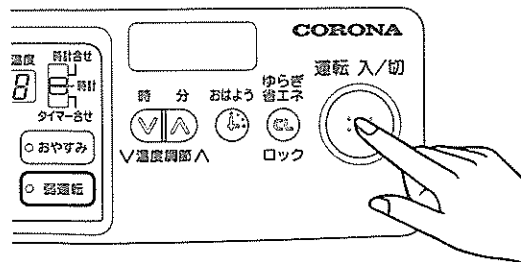
・弱運転中に、設定温度を変えることはできません。（温度調節ボタンを押すと、アラームとLo表示の点滅でお知らせします。）

●弱運転を解除するときは、弱運転キーを押して、弱運転ランプを消灯させてください。

炎の状態

●強燃焼・弱燃焼とも工場出荷時に燃焼状態を調節してあります。

●炎の状態は青い炎の中に、いくらかの黄色い炎（赤火）が混じっても異常ではありません。

消　火

運転ボタンを押す

●消火し、運転ランプが消灯します。
同時にデジタル表示部は温度表示から時刻表示に切り変わります。
（ゆらぎ省エネ運転中の場合は、ゆらぎ省エネランプも消灯します。）

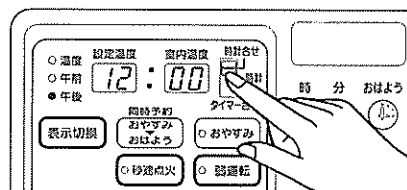
●消火後は本体内部が冷却するまで送風を継続し、約６分後に対流用送風機が停止します。

・消火操作後は、火が消えていることを確かめてください。
・外出するときは、必ず消火してください。
・緊急時以外に、ストーブに強い衝撃を与えて消火したり、電源プラグを抜いての消火はしないでください。

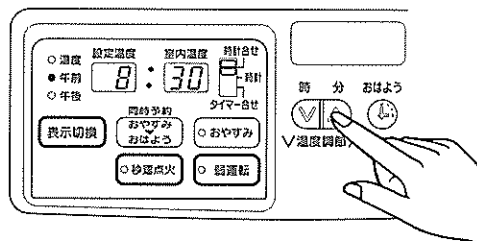
タイマーの使用方法

■現在時刻の合わせかた

●電源プラグをコンセントに差し込んだとき（未セット）、デジタル表示部は [--]:[--] を表示します。

1 「時計合せ」の位置にする

●切換スイッチを「時計合せ」の位置にしてください。

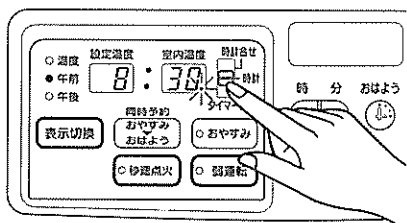
●デジタル表示部は、午後 [12]:[00] を表示します。

2 時刻を合わせる

●時・分ボタンを押して現在時刻を合わせてください。

●ボタンを押しつづけると、表示は連続して変わります。

- 時刻を合わせるときは、午前・午後をまちがえないよう注意してください。

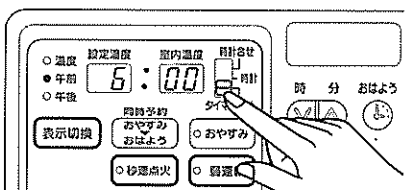
（例）午前8時30分に時刻を合わせる

3 「時計」の位置にする

●切換スイッチを「時計」の位置にしてください。

●時計動作コロンが点滅し、時計動作を開始します。

■タイマー時刻の合わせかた

●未セットの場合、タイマー時刻は自動的に午前 [6]:[00] にセットされています。

「タイマー合せ」の位置にする

●切換スイッチを「タイマー合せ」の位置にしてください。

●現在時刻の合わせかたと同様にして希望のタイマー時刻に合わせてください。

- タイマー時刻は、1度セットすれば記憶されます。
- タイマー時刻セット後は、切換スイッチを必ず「時計」の位置に合わせてください。

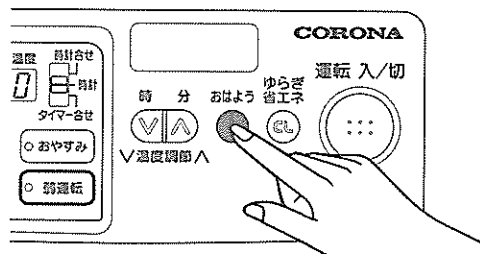
おはようタイマー運転のしかた

●現在時刻を合わせていないと、おはようタイマー運転はできません。

1 運転ボタンを押す

●運転ランプが点滅します。

・ストーブ運転中は押す必要はありません。

2 おはようボタンを押す

●おはようランプが点灯し、デジタル表示部にはタイマー時刻が表示されます。約5秒後に温度表示に変わります。

●合わせた時刻になると、ゆらぎ省エネ運転を開始します。ただし、弱運転中におはようタイマーセットされた場合は、弱運転で運転を開始します。

・タイマー時刻、設定温度を変えたい場合は、おはようボタンを押す前に変更してください。

おはようタイマーの解除

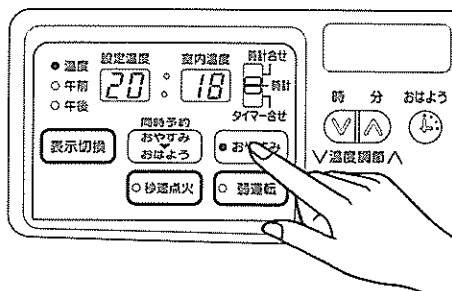
運転ボタンを押す

●おはようランプが消灯し、消火状態になります。

・外出時など、留守中に燃焼を開始するようなタイマーセットは、絶対にしないでください。
・タイマーセット時刻を確認するときは、切換スイッチを「タイマー合せ」にしてください。
・電源プラグをコンセントから抜いたときや停電後再通電したときは、タイマー運転はできません。再度現在時刻を合わせ、タイマー時刻合わせを行ってください。

おやすみタイマー運転のしかた

●ストーブ停止中からのおやすみタイマー運転はできません。
運転ボタンを押してから操作してください。

おやすみキーを押す

●おやすみランプが点灯します。

●1時間後に自動消火し、同時にデジタル表示部は、0:FFとなります。

おやすみタイマーの解除

おやすみキーを押す

●おやすみランプが消灯し、運転を継続します。

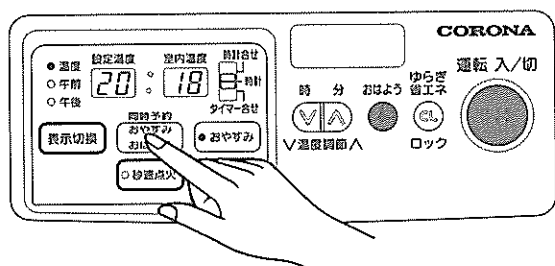
●消火するときは、運転ボタンを押してください。

タイマーの使用方法

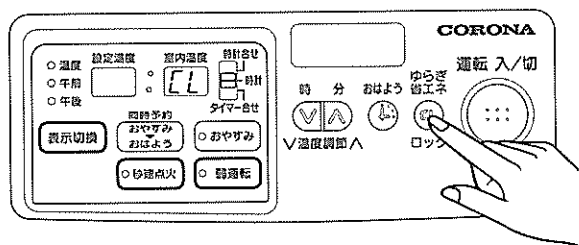
■おやすみ▶おはようタイマー運転

●ストーブ停止中からのおやすみタイマー運転はできません。
運転ボタンを押してから操作してください。

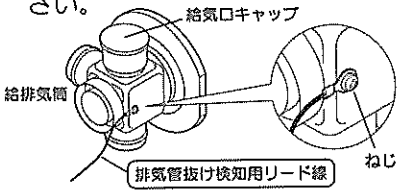
おやすみ▶おはようキーを押す

●おやすみランプ、おはようランプが同時に点灯します。１時間運転後に消火し、おはようタイマーセット時刻になると、運転を開始します。

チャイルドロック

お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転ボタンを押しても点火しないようにしたいときに使用する機能です。

ロックボタンを３回押す

●停止中にロックボタン（ゆらぎ省エネボタン兼用）を３秒以内に３回押してください。
●チャイルドロックがセットされ、デジタル表示部が CL となります。
●チャイルドロックの解除は、再度ロックボタンを３秒以内に３回押してください。

● チャイルドロックのセット中は、運転ボタンを押しても点火しません。
（運転ボタンを押すと、アラームと CL 表示の点滅でお知らせします。）

使用上の注意

● ⚠注意 給排気筒は高温です。やけどに注意してください。

●ストーブや給排気筒には、床暖房用の熱交換器などを取り付けないでください。
ストーブや給排気筒に不適当な熱交換器などを取り付けると排ガスの水分が結露しやすくなり、結露水が凍結して給排気筒をふさぎ、不完全燃焼や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。
また、ストーブの寿命を短くする原因にもなります。

6.安全装置

このストーブには次のような安全装置がついています。
すべての安全装置は、異常が取り除かれても再度点火操作をしなければ運転は停止したままです。

安全装置	原因	処置方法
対震自動消火装置 （E9表示）	● 地震や強い衝撃を受けたとき	● ストーブの周辺に異常がないか確認し、点火操作をしてください。 （作動後は自動的にセットされます。）
点火安全装置・燃焼制御装置 （E2またはE4表示）	● 点火ミスをしたとき ● 途中失火したとき	● 日常の点検・手入れ（21～25ページ参照）をしてから点火操作をしてください。 ● なおも異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
停電安全装置 （□:□表示（作動時） --:--または□:EE表示（復帰時））	● 停電したとき ● 電源プラグが抜けたとき	● 通電後、点火操作をしてください。 ● 電源プラグを確認してください。
過熱防止装置 安全サーモスタット （表示部全消灯）	● 温風空気取入口や温風吹出口がふさがったとき ● ストーブ前面に障害物があるとき	● 原因を取り除いて、本体内部が冷却してから点火操作をしてください。

7.その他の装置

装置の名称	原　因	処　置　方　法
排気管抜け検知装置 （E0表示）	●排気管の接続部がはずれたとき ●排気管抜け検知用リード線がはずれたり、断線したとき	●給排気筒および排気管の接続部に、はずれ・ゆるみがないか確認してください。 ●排気管抜け検知用リード線端子固定ねじのゆるみまたは、はずれ・切れがないか確認してください。 給気口キャップ 給排気筒 排気管抜け検知用リード線 ねじ
過電流防止装置（8アンペア） （表示部全消灯）	●内部配線のショートにより過電流が流れたとき	●ショートの原因を取り除き、電流ヒューズを交換してから、点火操作をしてください。
室温異常上昇防止装置 （EC表示）	●部屋の温度が50℃以上になったとき	●窓をあけ、部屋の換気をしてから、点火操作をしてください。

8.日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ストーブが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。
●燃焼部の分解はしないでください。

ストーブとストーブ周囲の点検　（使用ごと）

周囲の可燃物

● ⚠注意 ストーブの周囲は常に整理・清掃し、燃えやすいものを置かないでください。

ほこり・汚れ

●ほこりや汚れをそのままにしておくと、油がしみたりして危険です。
ストーブは、いつも清潔にしてご使用ください。

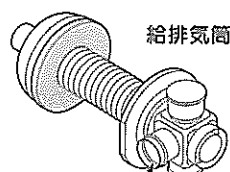
油漏れ・油のたまり 油のにじみ

●油が漏れていたり、油のたまり、にじみがないか点検してください。

●油漏れのあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

給排気筒およびトップの周囲の点検

（1シーズン1～2回）

■給排気筒のはずれ

● ⚠警告 給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているかときどき点検してください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

■給排気筒のつまり

●シーズン初めには必ず点検し、くもが巣をつくったり、異物が入ったりしているときは必ず掃除してください。

• 給排気筒がつまると不完全燃焼をおこします。

■給排気筒周囲の障害物

●給排気筒およびトップの周囲に障害物が置いてないか、ときどき点検してください。
障害物が置いてある場合は、移動してください。

■Oリングの破損

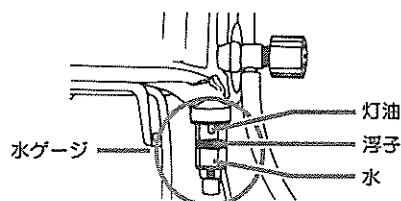
●給排気筒を一度取りはずして、再び取り付けるときは、排気管の接続部内部にはめ込んである0リングが破損していないか確かめてください。

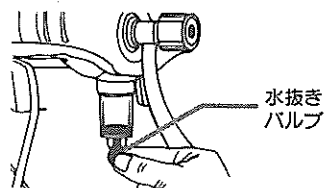
• 破損していた場合は、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。

油タンクの水抜き

（1シーズン1～2回）

油タンク内に水がたまると、水ゲージの灯油と水の境界面に赤色の浮子が浮き上がります。
(別売TC-40K形油タンクの場合)

1 浮子の点検

●浮子が浮き上がっていたら水抜きを行ってください。

2 水を抜く

●水抜きバルブの下に容器を置き、水抜きバルブを少しゆるめますと油タンク内の水が出て、浮子が沈みます。水を抜いたら水抜きバルブを固く締めてください。
●水抜き後は、油漏れがないか必ず確認してください。

• 油タンク内には、水やごみがたまりやすく、多くたまるとストーブの方へ流れ出し、灯油の流れを妨げて十分な火力が出なくなります。ときどき水ゲージの点検を行ってください。

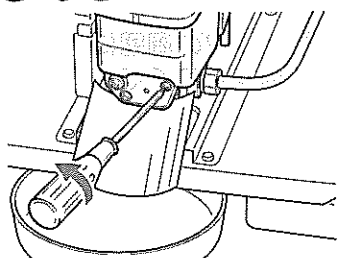
定油面器ストレーナの掃除

（1シーズン1回）
お買い求めの販売店に依頼してください。

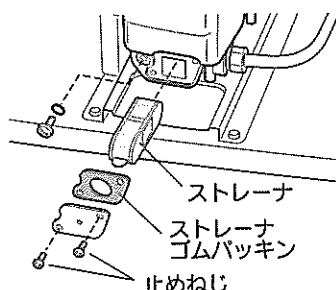
定油面器には、ごみを除くためのストレーナがついています。水やごみがたまると、灯油の流れを妨げて十分な火力が出なくなります。シーズンの終りには、次のように掃除をしてください。

1 油タンクの送油バルブを閉じる

2 ストレーナ止めねじをゆるめる

●ストレーナの掃除口にハガキなどの厚紙を差し込んで、油ガイドをつくり、その下に容器を置いてストレーナの止めねじをゆるめてはずしてください。

3 ストレーナをきれいな灯油ですすぎ洗いする

●ストレーナを抜き出して、きれいな灯油の中ですすぎ洗いしてください。

● 絶対に水で洗わないでください。

組み立てるときは
●ストレーナゴムパッキンを忘れないようにしてください。
●ストレーナの止めねじを、固く締め付けてください。
●ストレーナを逆に入れないでください。
●油漏れがないか確認してください。

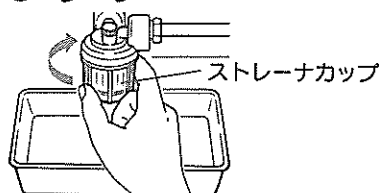
オイルフィルターの掃除

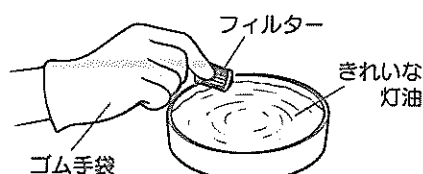
（1シーズン1～2回）
お買い求めの販売店に依頼してください。

オイルフィルターにごみや水がたまった場合は、次のように掃除を行ってください。
（ストーブの保管時に、オイルフィルターの灯油を抜き取るときも、同じように行ってください。）

1 油タンクの送油バルブを閉じる

オイルフィルターの掃除

2 ストレーナカップをはずす

●オイルフィルターの下に容器を置いて、ストレーナカップをはずし、カップにたまった水やごみを捨ててください。

3 フィルターをはずしきれいな灯油で洗う

●フィルターを真下に引いてはずし、きれいな灯油ですすぎ洗いしてください。

●絶対に水で洗わないでください。

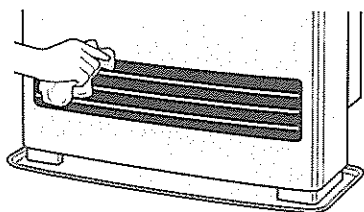
4 フィルターとストレーナカップをセットする

●フィルターを組み込み、ストレーナカップを強く締め付けてください。

●油タンクの送油バルブを開き、送油経路内の空気抜きをし、油漏れがないか、確認してください。

温風吹出口の掃除

（週1回）

やわらかい布でふき取る

●本体や温風吹出口の汚れは、本体が冷えてから、しめらせたやわらかい布でふき取ってください。

●しつこい汚れは中性洗剤を使用し、十分からぶきしてください。

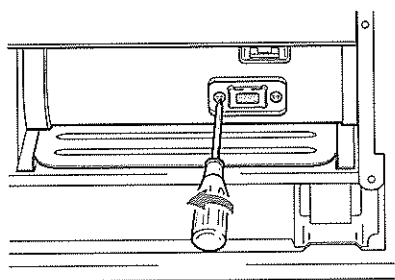
●温風吹出口羽根を曲げたり、変形させないように注意してください。

熱交換器の点検

（1シーズン1～2回）
お買い求めの販売店に依頼してください。

熱交換器の内部にすすが異常にたまりますと、不完全燃焼の原因となります。

●異常燃焼（においがしたり、給排気筒から黒煙がでるようなとき）がおこった場合には、バーナの点検とあわせて熱交換器の点検を、お買い求めの販売店に依頼してください。

のぞき窓の透明度が悪くなったとき お買い求めの販売店に依頼してください。

●のぞき窓をはずしてふく場合は、次のようにしてください。

●前パネル・グリルをはずし、のぞき窓をとめているねじをはずして、しめらせた布でふき取ってください。

- ねじ部は常温になってからはずしてください。
- もとどおり、均一にねじを締めて固定してください。

- のぞき窓をははずしたときは、パッキンを新品と交換してください。

ファンフィルターの掃除 (週1回以上)

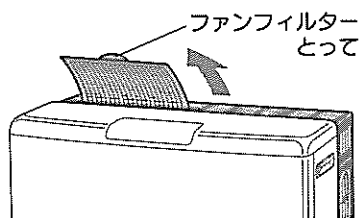
⚠注意 ファンフィルターは１週間に１回以上掃除してください。

ファンフィルターにほこりがたまると、音が大きくなって温風量が少なくなり暖房出力が低下すると同時に、ストーブ内の温度が異常に高くなって、過熱防止装置（安全サーモスタット）が作動する場合があります。
次の手順に従って、ファンフィルターをはずして掃除してください。

1 運転を停止する

●運転を停止し、対流ファンが止まっていることを確認してください。

2 ファンフィルターをはずす

●ファンフィルター上部のとってを持って手前に引き上げるとはずれます。

ファンフィルターとって

3 ほこりを取り除く

●掃除機などでファンフィルターについたほこりを取り除いてください。

4 ファンフィルターを取り付ける

●ファンフィルターをもとどおりに取り付けてください。

- ファンフィルターをはずしたままの状態では、絶対に運転しないでください。

9.定期点検

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。

●2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに、お買い上げ店または修理資格者〔(財) 日本石油燃焼機器保守協会 (TEL 03-3499-2928) で行う技術管理講習会修了者 (石油機器技術管理士) など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

地震などの災害が発生したときの点検について

地震などの災害が発生し、製品に振動や衝撃が加わったときは、運転前に必ず次の点検を行ってください。

- 給排気筒周りのはずれ、漏れの確認
- 灯油配管からの漏れ確認

点検で異常が見つかった場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

10.故障・異常の見分け方と処置方法

次のような現象は故障ではありません。

●修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

	現　　象	説　　明
点火時・消火時	初めて使用するとき、煙やにおいがでる。	耐熱塗料やほこりなどが焼けるためです。 しばらく窓をあけて換気をしてください。
	初めて使用するときや、シーズン初めの初使用時に１回で着火しない。	送油経路の空気たまりなどにより、１回で着火しないことがあります。 定油面器リセットレバーを１回押し下げてから２～３回点火操作をくりかえしてください。
	すぐに点火しない。	石油ガス化方式のため予熱時間が３分程必要です。 （予熱時間は室温により多少変化します。）
	燃焼開始時や消火後に「ピチピチ」という音がする。	本体内部が熱により膨張、収縮するためです。 異常ではありません。
	点火してもすぐ温風が出ない。	不快な冷風を出さないためであり、本体内部が暖まると温風が自動的に吹き出てきます。
	消火しても温風が出ている。	本体内部が冷却するまで送風を継続します。
燃焼時	点火プラグ・フレームロッド・バーナヘッドが赤くなる。	炎に熱せられて赤熱するためです。
	炎の中に黄色い炎が混じる。	異常ではありません。
その他	給排気筒の先端から連続的に白煙が出る。	外気温が低くなると、排気ガス中に含まれている水分が凝結して水蒸気になるためで、異常燃焼による白煙ではありません。

●次の表にもとづいて、もう一度お確かめください。
●処置方法で※印の項目や、処置方法により処置しても良くならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

現象／原因	点火しない	大きな燃焼音をあげて燃える	火が途中で消えてしまう	運転ランプもつかない運転しない	油漏れする	においがする	炎が大きくならない	赤火で燃える	E表示	処置方法	参照するページ
電源プラグをコンセントに差し込んでいない	●			●					——	コンセントに確実に差し込む	13
停電	●		●	●					——	通電されるまで待つ	20
油タンクに灯油がない	●		●						E2・E4	給油する	11〜12
定油面器リセットレバーがセットされていない	●								——	リセットレバーを1回押し下げる	13
連絡パイプの袋ナットがしまっていない					●	●			——	締め直す ※	——
排気管の配管が長すぎる								●	——	延長3m、曲がり3箇所以下にする。ただし、標高800m以上の高地では、延長2m、曲がり3箇所以下にする ※	33
強い衝撃があったまたは、ストーブに衝撃を与えた			●						E9	「地震などの災害が発生したときの点検について」の点検項目を確認し、運転ボタンを押しなおし、再点火する ※	20・26
排気管の接続部にすきまがあるまたは、パッキンが破損している						●			——	排気管の接続箇所が正しく取り付けられているか点検する パッキンが破損していたら交換する ※	——
給排気筒の先端がおおわれている		●	●					●	——	おおっているものを取り除く	22
過熱防止装置が作動した：温風吹出口がふさがれている			●						表示部全消灯またはEH	障害物を取り除く	20
過熱防止装置が作動した：ファンフィルターがほこりでつまっている			●						表示部全消灯またはEH	ファンフィルターの掃除をする	25
電源コードの断線・ヒューズの溶断	●		●	●					——	電源コード・ヒューズを交換する ※	——
不良灯油を使用している							●	●	——	良質の灯油を使用する	10
給気ホースがはずれている		●							——	確実に接続する	——
排気管抜け検知装置の作動	●		●						E0	排気管の接続部および排気管抜け検知用リード線の接続部のはずれを点検し、はずれていたら正しく接続する ※	21
室温異常上昇防止装置の作動			●						EC	窓をあけ、部屋の換気をする	21
標高調整ボリュームが調節されていない								●	——	標高調整ボリュームを標高に合わせて調節する（工事説明書「高地または延長配管で使用の場合」参照） ※	——

11.部品交換のしかた

● ⚠注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要の場合には、お買い求めの販売店または、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換は**コロナ純正部品**とご指定ください。

消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

●長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品
　バーナヘッド・バーナヘッドリング・電極・フレームロッド
●変質・不純灯油の使用により劣化しやすい部品
　オイルフィルター・フレームロッド・気化筒・電磁ポンプ

12.保管（長期間使用しない場合）

おしまいになるときは、日常の点検・手入れの項を参照し、次の要領で保管してください。

1.電源プラグをコンセントから抜いてください。

2.ファンフィルターの掃除をしてください。（25ページ参照）

3.油タンクの灯油をすべて抜き取ってください。
　●水、ごみなどを残したまま保管すると、さびや穴あきの原因になります。

4.オイルフィルターと定油面器内の灯油をすべて抜き取ってください。（23～24ページ参照）

5.本体のごみやほこりを取ってください。
　●掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。

6.本体をしめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。
（24ページ参照）

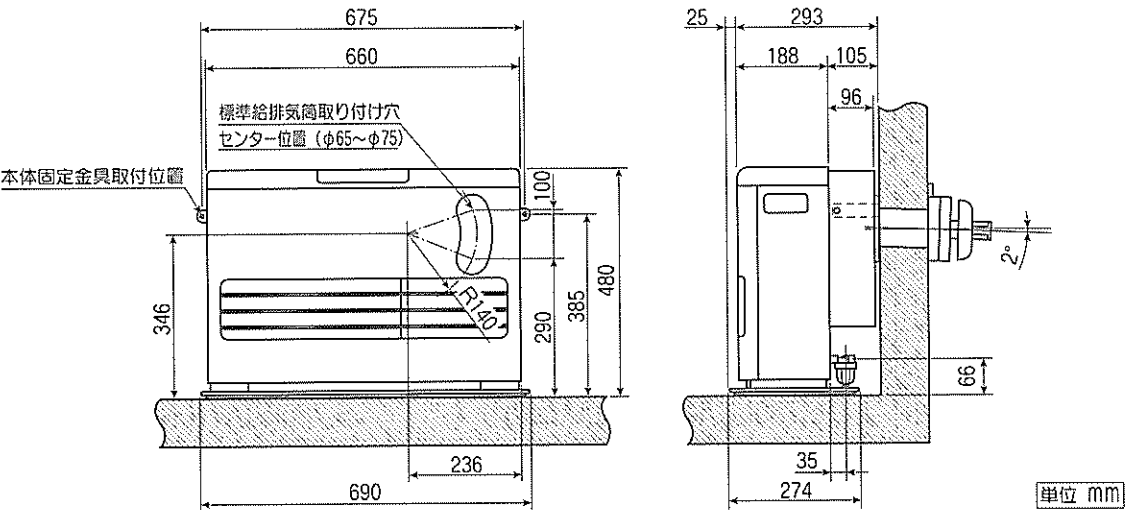
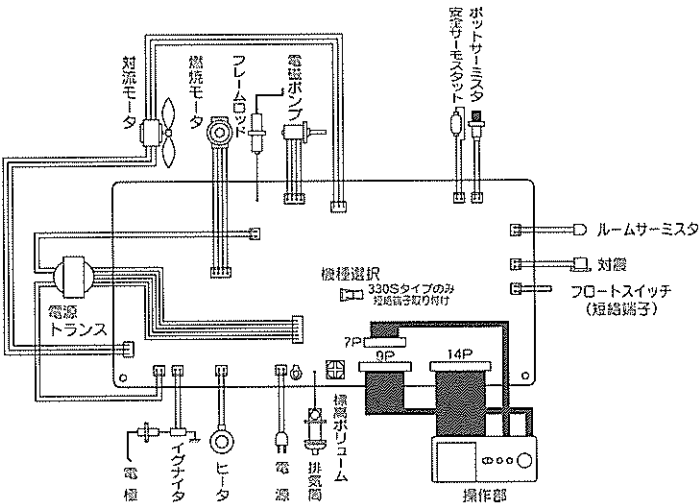
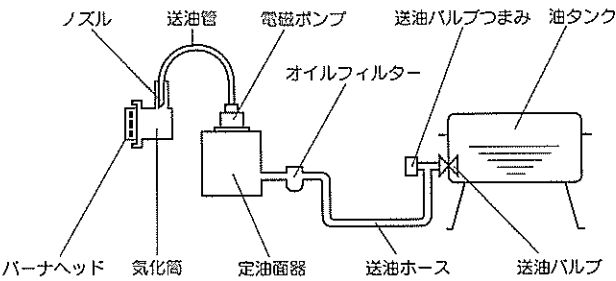
7.ストーブはできるだけ据付けたまま保管してください。
　●温風吹出口や背面のファンフィルターにほこりなどがたまらないようカバーなどをかけてください。
　●どうしても取りはずして保管されるときは、ポリ袋をかぶせ、乾燥した場所に横倒しにしないようおしまいください。
　●次シーズンに据付けるときには、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

●取扱説明書も大切に保管してください。

13.仕様

仕様

形式の呼び		FF-G330S	FF-G430S
種類		気化式・強制給排気形・強制対流形	
点火方式		電気点火式	
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）	
燃料消費量	最大	0.431L/h	0.561L/h
	最小	0.167L/h	0.167L/h
発熱量(入力)	最大	14,860kJ/h（3,550kcal/h）	19,340kJ/h（4,620kcal/h）
	最小	5,780kJ/h（1,380kcal/h）	5,780kJ/h（1,380kcal/h）
熱効率	最大	93%	
	最小	93%	
暖房出力	最大	3.84kW, 13,810kJ/h(3,300kcal/h)	5.00kW, 18,000kJ/h(4,300kcal/h)
	最小	1.49kW, 5,360kJ/h(1,280kcal/h)	1.49kW, 5,360kJ/h(1,280kcal/h)
標準適室	温暖地	木造 16.5㎡(10畳)まで コンクリート 23.0㎡(14畳)まで	木造 21.5㎡(13畳)まで コンクリート 30.0㎡(18畳)まで
	寒冷地	木造 16.5㎡(10畳)まで コンクリート 26.5㎡(16畳)まで	木造 23.0㎡(14畳)まで コンクリート 34.5㎡(21畳)まで
外形寸法		高さ480㎜ 幅690㎜ 奥行310㎜（置台を含む）	
質量		21kg	
電源電圧及び周波数		単相 100V 50／60Hz	
定格消費電力	点火時	最大 650／650W	
	燃焼時	33／36W	37／40W
給排気筒呼び径		D40	
運転音		35dB(最大燃焼時)／22dB(最小燃焼時)	37dB(最大燃焼時)／22dB(最小燃焼時)
給排気筒壁貫通部孔径		75㎜または65㎜	
排気温度		260℃以下	
電流ヒューズ		8A	
安全装置		対震自動消火装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置（安全サーモスタット）	
その他の装置		排気管抜け検知装置・過電流防止装置・室温異常上昇防止装置	
付属品		給排気筒セット1・型紙1・置台1・取扱説明書1・送油ホース1（締付金具2個付）	

外形寸法図

配線図

送油経路図

14.アフターサービス

保証について

●このコロナ密閉式石油ストーブには保証書がついています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受けとりになり、大切に保管してください。
●保証期間はお買い上げいただいた日から１年間です。
●次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
■変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
■誤った使用方法による故障や事故。

修理を依頼されるときには

●本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」（27・28ページ参照）の項に従って調べても良くならないときは、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。
●保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
• お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間
• 石油ストーブの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後７年です。

●輸送時や運搬時に定油面器内に灯油が残ったままですと、傾きや振動で灯油がこぼれることがありますので、必ず抜き取ってください。

15.据付け

据付け場所の選定および据付け要領

■火災予防条例

● ⚠注意 ストーブの据付けについては、火災予防条例など各種の規制があります。据付け工事は、販売店・工事店に依頼してください。

■電気配線

● ⚠注意 電源プラグは、必ず適正配線された単相100Vのコンセントに差し込んでください。

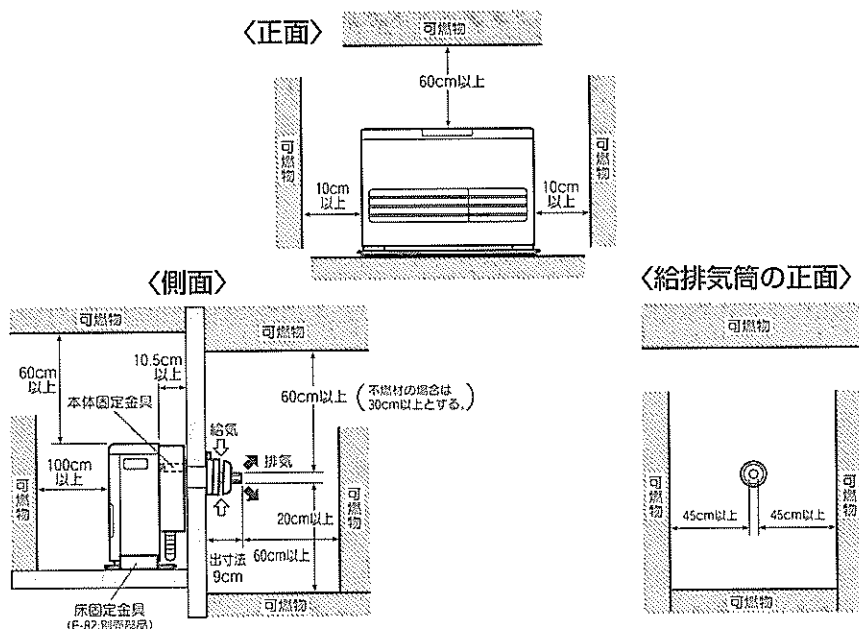
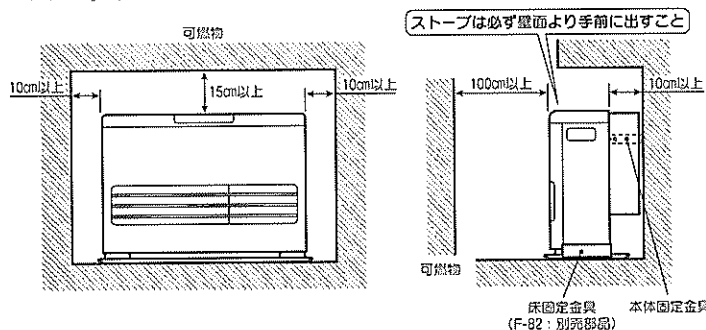
■ストーブの固定

● ⚠注意 地震などによる転倒防止のため、付属の本体固定金具を使用し、壁面にしっかり固定してください。本体固定金具が使えない場所では、床固定金具（F-82：別売部品）を使用し、床に固定してください。

• ストーブは、壁または床に必ず固定してください。
• 転倒防止のため、固定できない場所では使用しないでください。

■場所の選定

● ⚠警告 積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取り付け場所を選定してください。また風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

標準据付け例

～マントルピースなどに設置する場合～

●この設置方法は防火性能評定委員会により評定承認されたものです。

上　方	側　方	前　方	後　方
15cm以上	10cm以上	100cm以上	10cm以上

据付け工事後の確認

1.ストーブが壁または床に固定金具で固定されていることを確認してください。
2.丈夫な床面に据付けられていることを確認してください。
3.ストーブおよび給排気筒と周囲の材料との距離は火災予防条例で規制されています。
「標準据付け例」を参考にし、確認してください。
4.給排気筒の貫通部および寸法は工事説明書の「給排気筒の取付け」を参照して確認してください。
5.延長設置の場合は、延長３ｍ以下、曲り３箇所以下で行ってください。
ただし、標高800ｍ以上の高地では、延長２ｍ以下、曲がり３箇所以下で行ってください。
6.油タンクはストーブとの間に、防火上有効な壁などがない場合は２ｍ以上離してください。

- ストーブに付属している送油ホースまたは、指定の送油ホース以外は、使用しないでください。
- 送油ホースを屋外では使用しないでください。

7.適切な位置に電源コンセントが設けられているか、また電源コードが給排気筒に触れていないか確認してください。

試運転

運転準備 (詳しくは10～13ページ参照)

1.油タンクに給油し、送油経路内の空気抜きをしてください。

2.電源プラグをコンセントに刃の根元まで確実に差し込んでください。

3.高地で使用される場合は空気が希薄なため調整が必要となります。（詳しくは型紙裏面の工事説明書（高地または延長配管で使用の場合）を参照してください。）

4.定油面器リセットレバーを１回押してください。
(13ページ参照)

5.ストーブの置台の上や送油管の接続部に、油だまりや油漏れがないか確かめてください。

6.ストーブ側面の水平器で、水平に設置されていることを確認してください。

運　転 (詳しくは14～16ページ参照)

1.油タンクの送油バルブを開いてください。

2.運転ボタンを押してください。

●運転ランプが点滅し、約３分後に点火します。
●点火後約１分で対流用送風機がまわり温風がでます。

初めて使用するときは…
● 耐熱塗料などが焼けて煙とにおいがでます。窓をあけて部屋の換気をしてください。

3.運転ボタンを押して、消火してください。

●運転ランプが消灯し、約６分後に燃焼用送風機、対流用送風機が止まります。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。
名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

地区	窓口	所在地	〒	TEL
北海道地区	札幌支店	札幌市白石区平和通16丁目南1-19	〒003	TEL(011)864−0440(代表)
	お客様相談窓口			TEL(011)864−6631
	札幌サービスセンター	札幌市白石区米里2228-49	〒003	TEL(011)871−1000(代表)
	函館営業所	函館市亀田中野町6-30	〒041	TEL(0138)46−2228(代表)
	旭川営業所	旭川市東旭川南1条2丁目2-5	〒078	TEL(0166)37−2330(代表)
	帯広営業所	帯広市西12条南1丁目30-1	〒080	TEL(0155)35−7518(代表)
	釧路営業所	釧路市中園町2-5	〒085	TEL(0154)24−4191(代表)
	北見営業所	北見市美芳町9-1-30	〒090	TEL(0157)26−2103(代表)
東北地区	青森支店	青森市古館大柳55-1	〒030	TEL(0177)42−8255(代表)
	青森サービスセンター	青森市古館大柳55-1	〒030	TEL(0177)43−2971(代表)
	秋田営業所	秋田市泉金の町2-2	〒010	TEL(0188)64−5671(代表)
	八戸営業所	八戸市売市字売市55	〒031	TEL(0178)24−5289(代表)
	弘前営業所	弘前市田園1-2-1	〒036	TEL(0172)28−3910(代表)
	仙台支店	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒983	TEL(022)235−3181(代表)
	仙台サービスセンター	仙台市若林区卸町東5-7-20	〒983	TEL(022)288−3434(代表)
	郡山営業所	郡山市鳴神1-24	〒963-02	TEL(0249)52−6955(代表)
	山形営業所	山形市南原町3-7-11	〒990	TEL(0236)42−3255(代表)
	盛岡営業所	盛岡市門2-1-42	〒020	TEL(0196)22−4791(代表)
	いわき出張所	いわき市好間町下好間字渋井14-1	〒970-11	TEL(0246)36−7870(代表)
	水沢出張所	水沢市佐倉河字後樋108-3	〒023	TEL(0197)25−4835(代表)
	庄内出張所	酒田市錦町1-183-1	〒998-01	TEL(0234)31−0571(代表)
関東地区	東京支店	北区豊島8-4-8	〒114	TEL(03)3927−1151(代表)
	東京サービスセンター	北区豊島8-4-8	〒114	TEL(03)3911−1131(代表)
	水戸営業所	水戸市見川町2131-926	〒310	TEL(029)241−2172(代表)
	千葉営業所	千葉市花見川区幕張本郷4-7-2	〒262	TEL(043)274−1121(代表)
	大宮営業所	大宮市吉野町1-332-6	〒330	TEL(048)651−1231(代表)
	つくば出張所	つくば市松代4-9-16	〒305	TEL(0298)56−5585(代表)
	横浜支店	横浜市戸塚区原宿町1137-7	〒245	TEL(045)852−4008(代表)
	横浜サービスセンター	横浜市戸塚区原宿町1137-7	〒245	TEL(045)852−4802(代表)
	立川営業所	立川市西砂町1-66-13	〒190	TEL(0425)31−6771(代表)
	甲府出張所	中巨摩郡竜王町名取370-1 山中ビル1F	〒400-01	TEL(0552)79−5121(代表)
	高崎支店	高崎市問屋町西1-3-22	〒370	TEL(0273)61−4806(代表)
	高崎サービスセンター	高崎市問屋町西1-3-22	〒370	TEL(0273)63−8955(代表)
	宇都宮営業所	宇都宮市築瀬町2313	〒321	TEL(028)632−5105(代表)
	太田営業所	太田市高林東町2375	〒373	TEL(0276)38−6571(代表)
信越・北陸地区	新潟支店	三条市曲渕3-2-15	〒955	TEL(0256)32−2121(代表)
	三条サービスセンター	三条市東新保3-38	〒955	TEL(0256)32−2129(代表)
	新潟東営業所	新潟市江南1-6-41	〒950	TEL(025)286−9131(代表)
	新潟サービスセンター	新潟市近江180-1	〒950	TEL(025)281−4251(代表)
	長野営業所	長野市大豆島5312	〒381	TEL(026)221−5111(代表)
	上越営業所	新井市上百々亀田100	〒944	TEL(0255)73−7511(代表)
	松本営業所	松本市笹賀5824-2	〒399	TEL(0263)26−0051(代表)
	上田出張所	上田市国分1-3-28 城満ビル1F	〒386	TEL(0268)26−5011(代表)
	金沢支店	金沢市古府1-203	〒920-03	TEL(0762)40−0567(代表)
	金沢サービスセンター	金沢市古府1-203	〒920-03	TEL(0762)40−8055(代表)
	富山営業所	富山市田中町77-1	〒930	TEL(0764)44−0567(代表)
	福井営業所	福井市和田東1-607	〒910	TEL(0776)23−0567(代表)
東海地区	名古屋支店	名古屋市港区入場1-1903	〒455	TEL(052)383−3330(代表)
	名古屋サービスセンター	名古屋市港区入場1-1901	〒455	TEL(052)384−5670(代表)
	静岡営業所	静岡市高松2-15-30	〒422	TEL(054)238−0005(代表)
	岐阜営業所	岐阜市蔵前3-2-17	〒500	TEL(058)247−3661(代表)
	津営業所	津市高茶屋小森町里ノ上2942-1	〒514	TEL(0592)34−8471(代表)
	浜松出張所	浜松市小池町2548-4	〒435	TEL(053)460−5676(代表)
	沼津出張所	沼津市神田町7-26	〒410	TEL(0559)24−0010(代表)
	岡崎出張所	岡崎市大平町沢添49	〒444	TEL(0564)25−0275(代表)
近畿・四国地区	大阪支店	吹田市南金田1-8-47	〒564	TEL(06) 380−2111(代表)
	大阪サービスセンター	吹田市南金田1-8-47	〒564	TEL(06) 386−5670(代表)
	高松営業所	高松市上福岡町2015-3	〒760	TEL(0878)35−1711(代表)
	京都営業所	京都市伏見区竹田中島町14	〒612	TEL(075)643−2002(代表)
	姫路営業所	姫路市飾磨区構4-33	〒672	TEL(0792)34−2911(代表)
	彦根営業所	彦根市正法寺町南出78	〒522	TEL(0749)24−6239(代表)
	高知出張所	高知市鴨部276	〒780	TEL(0888)40−1400(代表)
	徳島出張所	徳島市名東町3-257-1	〒770	TEL(0886)31−4048(代表)
	福知山出張所	福知山市和久市町308	〒620	TEL(0773)22−0827(代表)
	松山出張所	松山市東長戸4-5-38	〒791	TEL(089)927−1654(代表)
	豊岡出張所	豊岡市幸町4-4	〒668	TEL(0796)24−4107(代表)
中国地区	広島支店	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-01	TEL(082)871−3310(代表)
	広島サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-01	TEL(082)871−3315(代表)
	岡山営業所	岡山市辰巳35-103	〒700	TEL(086)243−7751(代表)
	米子営業所	米子市目久美町235-1	〒683	TEL(0859)33−8157(代表)
	徳山営業所	徳山市楠木町1-9-25	〒745	TEL(0834)28−8637(代表)
	福山出張所	福山市春日町5-6-37	〒721	TEL(0849)45−2367(代表)
	出雲出張所	出雲市塩冶町978 大賀ビル1F	〒693	TEL(0853)21−8898(代表)
九州地区	福岡支店	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812	TEL(092)474−5771(代表)
	福岡サービスセンター	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812	TEL(092)474−6001(代表)
	北九州営業所	北九州市小倉北区愛宕2-6-4	〒803	TEL(093)592−8611(代表)
	鹿児島営業所	鹿児島市田上7-16-5	〒890	TEL(099)281−1321(代表)
	熊本営業所	熊本市健軍1-31-7	〒862	TEL(096)367−7361(代表)
	長崎営業所	西彼杵郡時津町元村郷1202-2	〒851-21	TEL(0958)82−7710(代表)
	宮崎営業所	宮崎市霧島3-59-2	〒880	TEL(0985)29−1680(代表)
	大分出張所	大分市東浜1-13-16	〒870	TEL(0975)58−1030(代表)
沖縄地区	沖縄出張所	浦添市大平392-1	〒901-21	TEL(098)879−0677(代表)

本社・工場	三条市東新保7-7	〒955	TEL(0256)32−2111(大代表)
柏崎工場	柏崎市宝町2-58	〒945	TEL(0257)23−5175(代表)
長岡工場	長岡市下条町倉ノ浦1069	〒940-11	TEL(0258)22−2121(代表)

T

株式会社コロナ

103WA0173-0 1 2 3 dsp 8